

★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。  
 ★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:500252 1口1000円～ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。  
 ★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:500251 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。  
 ★JOSO脱プラ基金は注文番号:500254 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。



2022-23年度活動テーマ(案)「つくと食べるでつながろう ～私たちの地産地消～」

## ゲノム編集トマトの種苗を受け取らないでください！ ～つくば市教育長に要望書を提出しました～



つくば市教育長へ茨城オーガニック給食プロジェクト・生活クラブ生協・常総生協の3団体で提出しました

昨年、10月に行われたOKシードプロジェクト主催の「ゲノム編集トマト苗配布問題に関する全国交流会」で、「安全性が確認されていないゲノム編集トマトの苗を福祉施設や小学校に配ってしまえば、福祉施設利用者や小学生たちはゲノム編集トマトの栽培を押しつけられてしまう可能性が高くなることは大きな問題」として、現在、全国各地の市民団体によって地方自治体にこの苗を受け取らないように求める要請行動を行っています。

2023年4月18日（火）、つくば市役所に出向き、パイオニアエコサイエンス社が社会福祉施設や教育施設へ無償配布計画を発表しているゲノム編集トマト「シシリアンルージュハイギャバ」の種苗を受け取らないよう、つくば市教育長に要望書を提出しました。

※次ページに続く

### 2023年5月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
○「常総っ子応援団」ゴンタで遊ぼうin流星台プレイパーク 毎週木曜日に外遊び活動をしています。 ・5/20(土)めぐみちゃん実験田の田植え ・5/21(日)竹村さんいちご交流会 ・5/27(土)藤井養蜂はちみつ交流会@生協本部 ・5/31(水)定例理事会	・5/6(土)ランチ守谷イベント出店 ・5/19(金)～20(土) NW21組織担当者会議 ・5/21(日)東海第二原発差止訴訟団 原告団総会@水戸

最初に茨城オーガニック給食プロジェクト代表の松永さんより、ゲノム編集食品の現状や問題点などを説明していただきました。

### ①現在のゲノム編集食品の状況

- 市場に出回っているゲノム編集食品  
ハイギャバトマト、筋肉の制御ができないマダイ、満腹感を持たないフグ、
- まもなく輸入されるアミロース制御できないトウモロコシ
- まもなく登場するであろうゲノム編集食品  
芽に毒が無いジャガイモ、おとなしいサバ・マグロ、共食いしないコオロギ  
→これらは現在、研究・開発中

### ②ゲノム編集の安全性への懸念

- ゲノム編集では未知の毒性、未知のアレルゲン（データベースにないので調べられない）の可能性
- ゲノム編集は自然界で起こる突然変異と変わらないと説明されているが、自然界では絶対に発生しない変異もゲノム編集では可能なこと
- 従来食品と変わらないので、安全審査は不要であること→従って表示義務もない

### ③失敗例

- おとなしいハムスターを作った→凶暴になってしまった
- HIV感染しない子ども（中国）→別の病気にかかりやすいことが判明

### ④その他

- スプレー式のゲノム編集の開発
  - もはやクリスパーキャス9を使わずして塩基配列を外部から改変
- ゲノム編集キットが買える

現在、日本での遺伝子組み換え食品消費量は、主食である米の消費量（約800万トン）の2倍であること、遺伝子組み換え作物の時と同様、ゲノム編集による農薬耐性・害虫抵抗性品種の開発研究されていることから、私たちにできることとして、「本当に安全な食を自ら守っていく」→「子ども達を守る」ことが大人の責任であるとお話ししていただきました。

常総生協としては、2003年に谷和原村での遺伝子組み換え大豆の栽培から、食の安全を守る活動に取り組み、当時の県議会に働きかけ茨城県規制方針などにも携わっている経緯をお話しさせていただきました。創立以来「食はいのち」の理念を掲げて、子ども達を含め、地域の人々の食、この地で命を育む生産者を守っていきたいこと。さらに次世代に安全な食をつなげていくためにも、ゲノム編集トマトを受け取らないで欲しいと訴えました。また、要望書とは別に、現場判断で教育材料として、受け取らないよう、学校を始めとした教育機関に通達をいただけないかとの要望も申し入れました。

つくば市教育長からは、ゲノム編集食品についての安全性がわからないことなど含め、各校長にも対話しながら伝えていくこと、また要望書に対する回答書へ返答も頂けるとお話がありました。

(理事長 増本)

 **OKシードプロジェクト**と一緒に取り組んでいる活動です  
ゲノム編集トマト苗の福祉施設・小学校への配布の受け取りについて回答結果を更新中！  
今回の結果もこちらに更新されます。 <https://okseed.jp/genometomato.html> →



# 竹村さんのいちごハウスで「いちご」を学ぼう！

毎年好評の「竹村さんのいちご」ですが、5月下旬でシーズン終了を迎えます。



一般的には「見た目も大事」ないちごの農薬使用回数は慣行栽培で数十回を超えます。そのような中、竹村さんは「無農薬栽培」を目指すいちご生産者です。

今回はシーズンオフを迎えるいちごハウスで、ハウス内の片付け(残りいちごの収穫など)をお手伝いしながら、竹村さんと交流できればと思います。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、状況に応じて中止となる場合もあります。何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

■日時：5月21(日)9:30～11:30頃まで

■集合場所：竹村さんのいちごハウス(竹村さん宅)

(住所：茨城県 かすみがうら市 西野寺682)

\*小雨決行。

\*荒天で中止のお知らせは、当日朝8時前後に電話連絡いたします。



## ■内容：

- ・いちごができるまでの見学(堆肥、肥料、苗床など)。
- ・ハウスの片付け・残りいちごの収穫（※収穫した「いちご」はお持ち帰りしてもらってOKですが、今年はいちごそのものが少ないです。ご了承ください）

■参加費：無料

■参加人数：30名程度(上限に達した場合は抽選となります。抽選結果は5/16火までにはご連絡いたします。)

■持ち物・準備：マスク、帽子、長靴、軍手、タオル、着替え、飲み物

※参加当日は検温の御協力をお願いします。

■申込〆切：5月12日(金)迄（下票を〆切日までにご提出、または常総生協のホームページ（又は下記QR）からお申込みください）

■問い合わせ：商品部 カキザキ（電話：0297-38-8536）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 切り取り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  
5月21日（日） 竹村さんのいちごハウスで「いちご」を学ぼう！【申込用紙】

コース： 班名：

お名前： 当日連絡がつく携帯番号：

【参加人数： おとな： 名、 こども： 名】





# 「めぐみちゃん」の生産者といっしょに 田植えをしませんか？

5月は田植えの季節。その後、追肥、除草、稲刈り...。お米はいろいろな作業を経て私たちの食卓にやってきます。でも、実際に経験された方は、実は少ないのではないのでしょうか？

今回は「めぐみちゃん」生産者といっしょに、生協実験田（※）での「田植え」のご案内です。

生産者と直接交流できる機会ですので、田植えを体験しながら一緒にお米について学びませんか？  
お子さまも大歓迎です。生産者も皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

※**実験田とは？**...めぐみちゃんの田んぼの土地の一区画で農薬無散布・無化学肥料で作っているお米です。田植え・稲刈り体験、また生産者と交流の場として20年以上前から取り組んでいます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、状況に応じて中止となる場合もあります。

※**昼食交流会はありませんが、弁当持参の方は終了後、家族単位で集合場所集会場をご利用できます。**

■日時：5月20(土)9:45～11:30頃まで

■集合場所：JA常総ひかり東町構造改善センター

（住所：茨城県 常総市 東町2409）

\*小雨決行。

\*荒天時中止のお知らせは、当日朝8時前後に電話連絡いたします。



■内容：田植えと生産者との交流

■参加費：大人100円、小学生以下無料（生協代金と一緒に後日引き落とし）

■参加人数：30名程度(上限に達した場合は抽選となります。**抽選結果は5/16火までにはご連絡いたします。**)

■持ち物・準備：長靴、タオル、帽子、着替え、飲み物

※水田に入り田植え（手植え）をします。汚れても良い恰好でお越しください。

■申込〆切：5月12日(金)迄（下票を〆切日までにご提出、または常総生協のホームページ（又は下記QRコード）からお申込みください）

■問い合わせ：商品部 カキザキ（電話：0297-38-8536）

..... 切り取り .....

5月20日（土） 「めぐみちゃん」生産者と一緒に田植えをしよう！【申込用紙】

コース： 班名：

お名前： 当日連絡がつく携帯番号：

【参加人数： おとな： 名、 こども： 名】

